

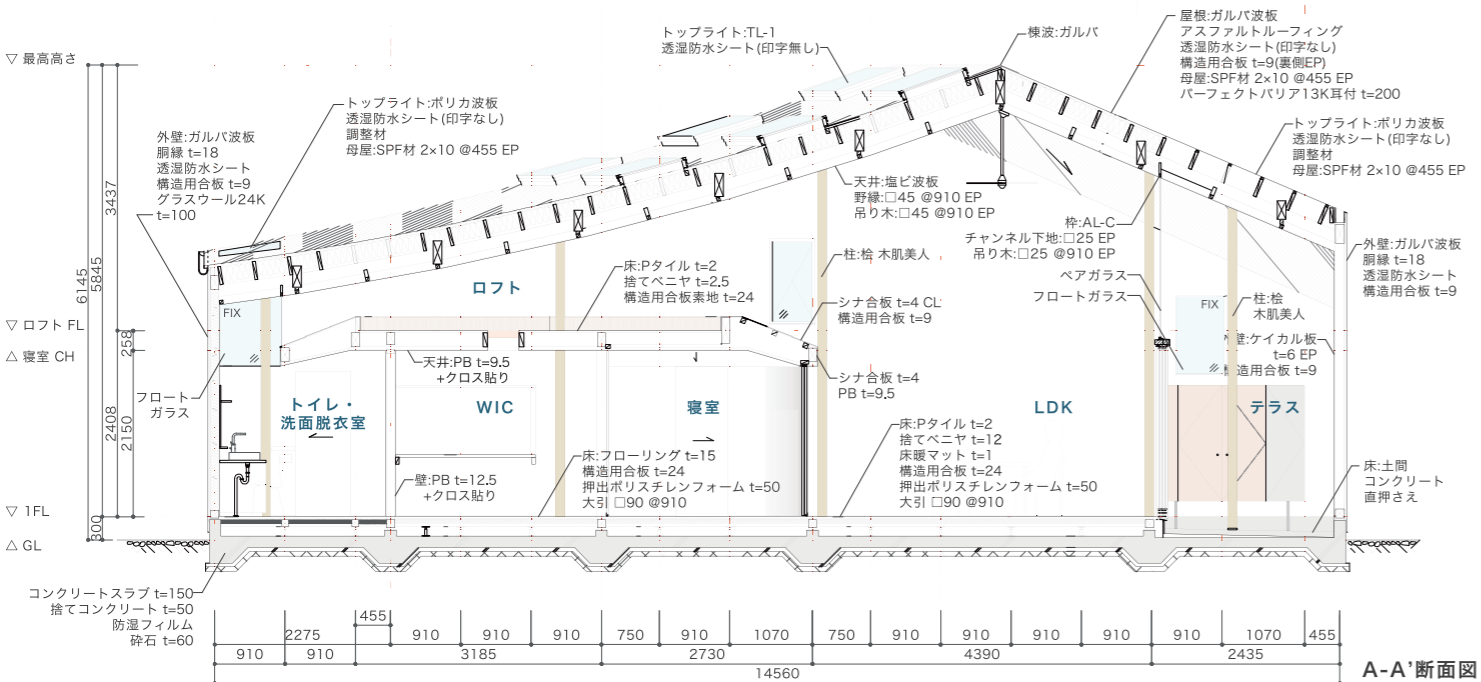
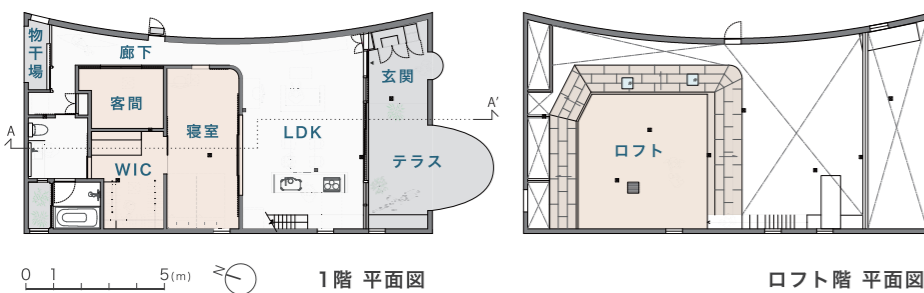
第8回 サステナブル住宅賞 硝子繊維協会会長賞

主催：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

コヤトヤネ

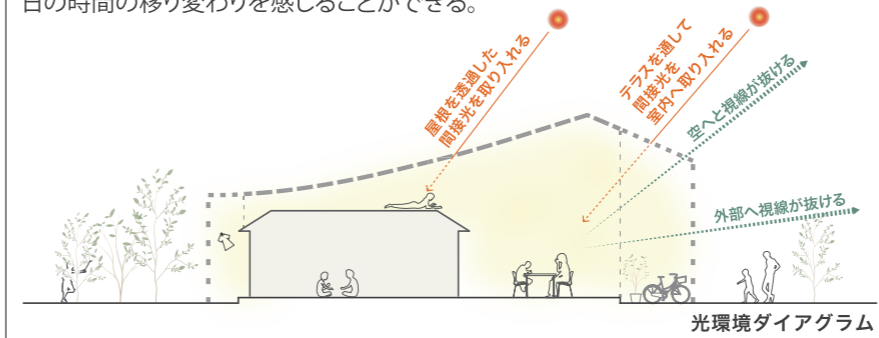


建物南側からファサードを見る



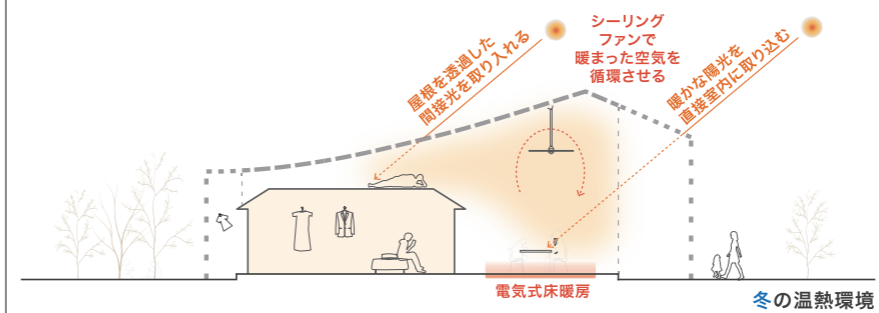
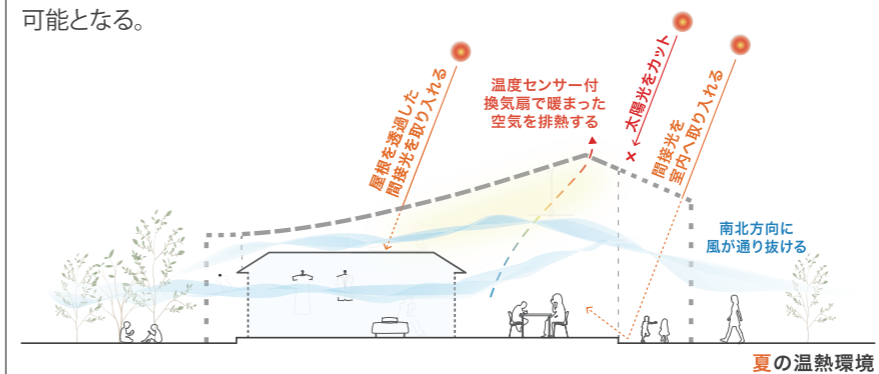
省エネルギー

昼間は、半外部スペースであるテラスから間接光を取り入れ、天井からは透過性のある断熱材と天井材、下地のルーバー材を通して自然な太陽光を感じることができ、照明機器に頼ることなく明るい室内環境を実現し、屋内にいながら、四季や天気、一日の時間の移り変わりを感ずることができる。



自然エネルギーを利用

周辺環境は田畑が多く残る地域で北側にはため池があることで、一年中安定して通風が期待できる。そこで近隣からの視線を気にすることなく家中に風を通すことのできる計画とし、夏期の太陽光を遮ることでエアコンにできるだけ頼らない室内環境を実現している。また冬期は太陽光を取り入れながら床暖房による輻射暖房を利用し、夜間は寝室の気積を小さくすることであまりエアコンに頼らない生活が可能となる。



省資源・資源循環

天井にはペットボトルをリサイクルして再繊維化したポリエステル100%の断熱材を利用している。この断熱材は再生を繰り返し行えることで、資源やエネルギーの節約に貢献する環境性に優れた断熱材である。



建物の長寿命化

半外部スペースとして、テラスや玄関、物干場やバスコートなどを配置することにより、木製建具などを風雨や紫外線から守り開口部周りの長寿命化を図るだけでなく、プライバシーを気にすることなく通風を確保することができ、建物全体の長寿命化にも寄与する。



写真 笹の倉舎 / 笹倉 洋平

設計者：株式会社 y+M design office / 三宅 正浩

施工者：センコー産業株式会社

建物概要

所在地：香川県丸亀市

用途：専用住宅

構造：木造軸組工法

階数：地上2階建て

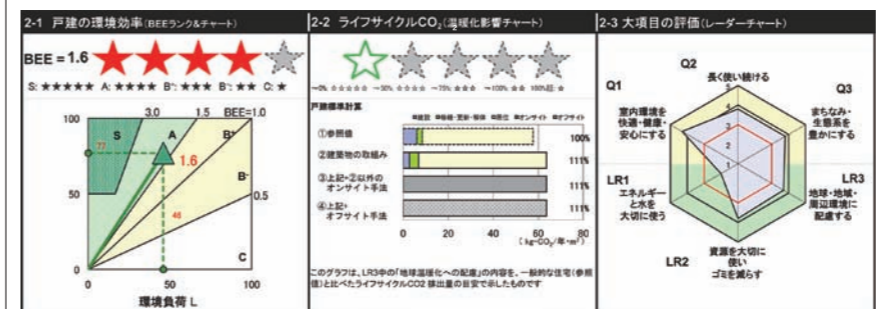
敷地面積：425.44㎡

建築面積：102.25㎡

延床面積：126.22㎡

竣工年月：2017年12月

家族構成：3人[夫婦2人、子ども1人]



立地を活かして、機械設備に頼らずに自然環境を効果的に取り込み、自然の風や太陽光・太陽熱を利用することによって、水面から涼風を感じたり、ひなたぼっこでうとうとしたりと数字には表れない自然共生の住まいならではの心地良さを実現している。